2022年度
シラバス（授業内容）

昼間部１年
観光科　トラベルコース

1.シラバスとは

シラバスは、授業の内容を予め受講者に知らせるもので、到達目標・使用教材・単位数等が記載されています。
当校の教育理念は「ホスピタリティマインド豊かな社会人の育成」です。ホスピタリティとはお客様をおもてなしすること、心配り・気配り・思いやりを意味します。相手の立場に立って考え、行動できる人間を育成することを念頭にカリキュラム編成をしています。同時に卒業後、即戦力として活躍できるよう専門分野においても基礎・応用からの実践教育を取り入れたカリキュラムとなっています。

2.科目編成（カリキュラム）の概要

科目編成は、共通科目と専門科目です。
全科目が必修科目となり、卒業にはすべての単位取得が必要です。
（1）共通科目：人間力を高めること、職業人として必要なビジネス教養を身に付ける科目構成です。
（2）専門科目：各科各コースの専門分野に即した科目構成です。

学校法人 中村学園
国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校

2022 年度　昼間部 1 年　観光科トラベルコース

進級・卒業基準単位

		1 年		2 年		卒業
		前期	後期	前期	後期	基準単位
必修	共通必修	7	8	6	6	27
	専門必修	17	22	22	17	78
合　計		24	30	28	23	105

各期全単位を取得すること。

履修科目・単位一覧

実務経験のある教員による科目

		1年前期				1年後期				2年前期				2年後期			
		科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数
必修科目	共通科目	ホスピタリティⅠ	演	1	15	ホスピタリティⅡ	演	1	15	卒業研究Ⅰ	講	2	30	卒業研究Ⅱ	講	2	30
		キャリアデザインⅠ	演	2	30	キャリアデザインⅡ	演	5	75	キャリアデザインⅢ	講	1	15				
		ビジネスコミュニケーションⅠ	講・演	1	15					ビジネスコミュニケーションⅡ	講	1	15	ビジネスコミュニケーションⅢ	講	1	15
		就職筆記対策Ⅰ	講	1	15	就職筆記対策Ⅱ	講	1	15	脳力開発Ⅰ	演	1	15	脳力開発Ⅱ	演	1	15
		Let's Speak EnglishⅠ	演	1	15	Let's Speak EnglishⅡ	演	1	15	Let's Speak EnglishⅢ	演	1	15	Let's Speak EnglishⅣ	演	1	15
		パソコン	演	1	15									国際交流	演	1	15
		小計		7	105	小計		8	120	小計		6	90	小計		6	90
	専門科目	旅行業法	講	3	45	アマデウス	技	1	30	パソコンスキルⅠ	演	1	30	パソコンスキルⅡ	演	1	30
		旅行業約款	講	3	45	就職対策Ⅰ	講	3	45	就職対策Ⅱ	演	2	30	社会人準備講座	演	1	30
		国内旅行地理Ⅰ	講	1	30	Web入門Ⅰ	演	1	30	Web入門Ⅱ	演	1	30	Web入門Ⅲ	演	1	30
		国内旅行地理Ⅱ	講	1	30	国内観光資源Ⅰ	講	2	30	国内観光資源Ⅱ	講	2	30	国内観光資源Ⅲ	講	2	30
		国内旅行地理Ⅲ	講	1	30	海外観光資源Ⅰ	講	2	30	海外観光資源Ⅱ	講	2	30	海外観光資源Ⅲ	講	2	30
		各種運送約款・料金	講	1	15	硬筆・書写検定対策	講	1	15	添乗実務Ⅰ	演	2	30	添乗実務Ⅱ	演	2	30
		時刻表実務Ⅰ	講	1	30	時刻表実務Ⅱ	講	1	30	旅行英語Ⅰ	講	1	15	旅行英語Ⅱ	講	1	15
		鉄道運賃・料金	講	3	45	Travel EnglishⅠ	演	1	15	Travel EnglishⅡ	演	1	15	Travel EnglishⅢ	演	1	15
		国内管理者対策Ⅰ	講	2	30	国内管理者対策Ⅱ	講	4	60	English communicationⅠ	演	1	15	English communicationⅡ	演	1	15
		観光業界ガイド	講	1	20	観光実務Ⅰ	講・演	3	45	観光実務Ⅱ	講	3	45	観光実務Ⅲ	講	2	30
						観光プランニングⅠ	演	2	30	観光プランニングⅡ	演	2	35	観光プランニングⅢ	演	2	30
						Web筆記対策	講	1	15	接客手話Ⅰ	演	1	15	接客手話Ⅱ	演	1	15
										プレゼン技法	演	1	15				
										海外旅行実務	講	2	30				
		小計		17	320	小計		22	375	小計		22	365	小計		17	300
計		1年前期　計		24	425	1年後期　計		30	495	2年前期　計		28	455	2年後期　計		23	390
		1年　計						54	920	2年　計						51	845
		2年間　合計														105	1765

行事	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
	スタートアップセミナー	就職ガイダンス	スポーツ大会	中村学園祭
	スポーツ大会	中村学園祭		
		就職交流プラザ		
		カミングホームプラザ		

共通科目

シラバス（授業計画）

科目名	ホスピタリティⅠ・Ⅱ			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	演習
実施期	1 年 前期・後期	単位数	前期 ： 1 単位 後期 ： 1 単位	時間数	前期 ： 15 時間 後期 ： 15 時間
担当	黒坂 明子				
	実務経験 ： 有 ・ [無]				
授業概要	ホスピタリティマインドとは「相手の立場に立って考え、相手を慮る心」です。 お客様に接客するうえで必要な知識やマナーの実践に、ホスピタリティマインドを活かせるようサポートします。 心理学の知見を応用し様々な角度から自分自身を振り返り、自己肯定感や行動変容の重要性を学びます。ワークを通して「気づき」を促しながら人間力を高め、気持ちよくおもてなしが発揮できるよう、ITHB の教育理念に基づいた「ホスピタリティ豊かな人材の育成」のゴールを目指します。				
到達目標	あらゆるタイプの人とも上手に交流できるようになる 周りから見られている自分のイメージを確認し、自己改善を図る おもてなしの心を形にできるようになる				
検定資格	[なし] ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	ホスピタリティマインド養成ワークブック （㈱ホロス人材開発研究所）				
授業計画	【ホスピタリティの理解 「プラスの視点」の重要性】 ・ホスピタリティとは・・・ ・他己紹介による自分表現 ・マイナス思考とプラス思考 ・マイナス思考に陥った場合の対処行動 【ホスピタリティマインドの確立】 ・他者理解・他者受容 ・価値観とは？・グループ討議 ・自分の物の見方や考え方を知る ・相手を受け入れることの重要性 【ホスピタリティマインドの発揮 豊かな触れ合いのために・・・】 ・ストローク（触れ合い）の理解 ・ストローク演習・DVD観賞 ・自画像と他画像の違い・他者からの自分のイメージを知る ・気付きと自己改善の勧め 【ホスピタリティサービスの本質】 ・モノ的なサービスとヒト的なサービス・CSと顧客心理 ・ホスピタリティ産業について ・ディズニーにおけるおもてなし ・「おもてなしの心」を「形」に・・・				
成績評価 方法	試験、授業態度、出席日数 （下記評価基準に基づく）				
成績評価 基準	A：評価試験 85 点以上、出席率 90%以上、平常点優 B：評価試験 60 点以上、出席率 70%以上、平常点良 C：評価試験 40 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D：評価試験 40 点未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

社会人になる前の貴重な学生生活が始まります。 新たな友人との出会いと、様々なことへのチャレンジを通して、自分を今より素敵に変えてみませんか？

シラバス（授業計画）

科目名	キャリアデザインⅠ・Ⅱ			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	演習
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期 ： 2単位 後期 ： 5単位	時間数	前期 ： 30時間 後期 ： 75時間
担当	就職担当				
	実務経験 ： 有 ・ [無]				
授業概要	専門学校への入学は、就職を大前提とした各人の進路を見出すことが大きな意義です。そして就職をする上で最も重要なことは自分を知ることです。当授業では、職業人としての心構えを身につける他、ツールを使用した自己分析や社会の中での自分の強みや他者理解を学びます。 夏以降にスタートする就職活動の準備や必要事項を学び、演習を通じて就職活動本番で結果を出せるように自信をつけられる授業とします。就活は各自の目指す業界、企業により開始時期が違いますので授業をベースとしながら個々の進行に応じ個別にバックアップし内定に向けサポート致します。				
到達目標	1、社会人へのステップに繋がる職業人としての基礎知識とマインドを身につける。 2、学生生活や人間関係、将来の仕事などで役に立つ自分の強みを学ぶ。 3、就職活動の基本的な考え方を理解し、実践に備える。 4、内定を勝ち取るためのあらゆる準備を進め、就職活動を通じて社会で通用する人材を目指す。				
検定資格	[なし] ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	「LIFO テキスト」（㈱ビーコンラーニングサービス） 「個人レポート」（㈱ビーコンラーニングサービス） 「質問紙」（㈱ビーコンラーニングサービス） 「MY CAREER NOTEⅢ」（ベネッセ i-キャリア）				
授業計画	【職業とキャリア】 人はなぜ働くのか？仕事と職業、職業の三要素、働くことの意義と目的 職業の形態と種類、職業選択と自分がめざす生き方、職業人としてのマインド、 生活の自立と自律、最近の社会事情 【自己理解】 LIFOの基本的考え方の理解、コミュニケーションと自己理解の関係、 自己理解3つの方法、自己点検実施と発表、ライフライン記入、 自己分析シート記入、LIFO（ライフォ）質問紙記入と採点、 4つのスタイルの具体的理解、診断分析、個人レポート作成、自分の強みの整理、 自己分析シート（強みの過剰使用）への落し込み、4つのスタイルとアプローチ、 失敗経験と分析、自分のスタイルと他者スタイルの理解 【就職活動実践】 就活の流れ、就活サイト登録と使用方法、企業研究方法、雇用形態について、 社会保険、自己分析の目的、過去から現在の自分の分析、将来の自分を考える、 ジョハリの窓、他己分析、自己PR作成、履歴書・ES作成ポイント、企業研究、 面接演習、GPワーク試験対策、小論文演習、SPI対策と模擬試験演習、企業講演				
成績評価 方法	期末試験の得点ならびに出席率がメインとなります。平常点は就職活動(進路活動)の取り組む姿勢、 授業態度、提出物などが評価基準です。				
成績評価 基準	A：評価試験85点以上　かつ　出席率90%以上、平常点優 B：評価試験65点以上　かつ　出席率80%以上、平常点良 C：評価試験40点以上　かつ　出席率60%以上、平常点可 D：評価試験40点未満、出席率60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス（授業計画）

科目名	ビジネスコミュニケーション Ⅰ			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	講義・演習
実施期	1 年　前期	単位数	前期 ： 1 単位	時間数	前期 ： 15 時間
担当	岡田・橋本・担当講師				
	実務経験 ： 有 ・ 無				
授業概要	目的:観光業界の社会人として最低限のビジネスマナーを理解・実行できる事。 概要:ビジネスシーンで誰もが当たり前に行動している挨拶や言葉遣い、接遇を学びます。				
到達目標	1 年次夏休みの実習や後期から開始される就活で、自信をもって行動できるようになる。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称:秘書検定				
教科書 教材	秘書検定合格教本2・3級　新星出版社				
授業計画	【挨拶と人間関係】 挨拶の重要性 第一印象の重要性 相手に良い印象を与えるコツ 【社会人心得】 自己管理・4つのポイント 社会人としてのルール 報告・連絡・相談 【敬語を使いましょう】 敬語の種類 正しい敬語の使い方 接遇用語の表現 接遇の立ち振る舞い（受付、名刺の受け取り方） 【実践！ビジネスコミュニケーション】 上手な聞き方、話し方 命令・指示、忠告・注意の受け方 電話の受け方と取り次ぎ方、メモの残し方 領収書の記入方法				
成績評価 方法	評価試験には期末試験の他、演習試験や小テストを含みます。				
成績評価 基準	A:評価試験 80 点以上、出席率 85%以上、平常点優 B:評価試験 70 点以上、出席率 70%以上、平常点良 C:評価試験 50 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D:評価試験 50 点未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス（授業計画）

科目名	就職筆記対策Ⅰ・Ⅱ			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	講義
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期 ： 1単位 後期 ： 1単位	時間数	前期 ： 15時間 後期 ： 15時間
担当	中村 雄一、愛澤 純子、担当講師				
	実務経験 ： 有 ・ 無				
授業概要	日本の多くの企業が就職採用試験で実施している筆記テストの対策授業。 就職試験に用いられるテストには、企業が独自で作る一般常識などのテストのほかに、専門業者が開発・販売している適正検査がたくさんあります。当授業では、日本で最も多く使われている採用テストであるSPI（リクルート販売商品）対策を中心に行います。就職筆記試験は、問題量が多く、解ききれないくらい出題されるケースもありますが、問題レベルはそれほど高いわけではありません。対策すれば必ず点数は上がります。				
到達目標	・就職活動における採用試験の“絞り込み”に勝ち残る基礎学力を身につける。 ・仕事をする上で必要な基礎学力を身につける。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	専門学校生のための就職筆記試験対策問題集【Webテスト付】（ウイネット）				
授業計画	【非言語能力対策】 推論 順列・組み合わせ 確率 速度算 集合 【言語能力対策】 漢字の書き取り・読み 二語の関係 語句の意味 ※愛澤クラスは中間試験を実施し、中間と期末の平均点で評価をします。				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：出席率80%以上、平常点良好、授業内期末試験80点以上 B：出席率80%以上、平常点良好、授業内期末試験60点以上 C：出席率60%以上、平常点良好、授業内期末試験40点以上 D：出席率60%未満、平常点不良、授業内期末試験40点未満				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	Let's Speak English Ⅰ・Ⅱ			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	演習
実施期	1 年 前期・後期	単位数	前期 : 1 単位 後期 : 1 単位	時間数	前期 : 15 時間 後期 : 15 時間
担当	語学担当講師				
	実務経験 : 有 ・ 無				
授業概要	「英語で外国人と会話が出来たら. . . 」ちょっとしたスキルとちょっとした勇気で、それは誰にでも実現可能なことです。シンプルなキーセンテンスを応用して使えるように、会話、リスニング、アクティビティを通して練習していきます。クラスはレベル別に分かれますが、どのクラスも授業は出来る限り English Only で進めます。				
到達目標	日常的な話題について、シンプルな英語でコミュニケーションをとることが出来る。 異なる国や文化の人々と積極的にコミュニケーションを図ろうとすることが出来る。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	Speak Now Level 1 Student Book (Oxford)				
授業計画	【New Friends】 Greetings, self-introductions, asking for personal information,. 【Interests】 Music, movies, time, sport. 【People】 Family, personality, clothes. 【Daily Life】 Routines, sequences, be -ing.				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A:評価試験(理解度)80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B:評価試験(理解度)60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C:評価試験(理解度)50%以上、出席率 60%以上、平常点可 D:評価試験(理解度)49%以下、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

Don't be shy! Do your best!

シラバス（授業計画）

科目名	パソコン			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	演習
実施期	1 年　前期	単位数	前期 ： 1 単位	時間数	前期 ： 15 時間
担当	愛澤　純子				
	実務経験 ： 有 ・ 無	パソコン講師として実務経験あり。			
授業概要	現代社会において、パソコンは必須です。ツールとしてのパソコンを使いこなすことは勿論、入力速度も重要なポイントです。 本授業では、入力速度アップを図りながら、ワード・エクセルなどの基本操作を理解し、実際に例題を作成しながら操作方法を習得します。				
到達目標	ワード・エクセルを含めたPC操作の基本を理解・習得する。前提として、入力測定はP検3級以上(40 点以上)の技術を目標とする。ワードでは書式を整えた文書作成ができるようにする。エクセルでは簡単な計算式を組み込んだ表作成とデータを利用したグラフ作成・データベース機能の操作ができるようにする。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称:マイクロソフトオフィススペシャリスト(MOS)検定・ワープロ検定				
教科書 教材	「30 時間ｱｶﾃﾞﾐｯｸ情報ﾘﾃﾗｼｰ Office2016」（実教出版） USB メモリ				
授業計画	【入力測定】 ホームポジションを意識した入力練習を行う。 MSIME を使用した言語入力操作を修得する。 【ワード基本作業】 ワードの基礎知識を理解し、文章入力練習を行い、文書作成方法を学ぶ。 表作成とページ罫線の操作と習得。 ワードアート・図形描画を利用した表現力のある文書作成を学ぶ。 【エクセル基本作業】 オートフィルなどを使ってデータ入力の基本及びエクセルの基礎知識を学ぶ。 作表と関数入力を学び、表計算方法を修得する。 データを利用してグラフ作成を行い、視覚的な分析方法を学ぶ。 データベース操作を学習する。				
成績評価 方法	授業第1回及び第11回に入力測定を実施する他、ワード基本修得後に中間テストを実施します。 中間テスト及び評価試験さらに平常点を勘案し、総合的評価で判断します。 入力測定35点以上を前提としますが、2回目(授業第11回)の入力測定で35点未満は2000字程度の課題を提出することとする。				
成績評価 基準	A：評価試験 80 点以上、出席率 90%以上、平常点優、入力測定 35 点以上 B：評価試験 70 点以上、出席率 80%以上、平常点良、入力測定 35 点以上 C：評価試験 40 点以上、出席率 60%以上、平常点可、入力測定 35 点以上 D：評価試験 40 点未満、出席率 60%未満、平常点不可、入力測定 35 点未満				

学生へのメッセージ

パソコンを利用したワープロ、表計算ソフトでは入力速度も問われますので、パソコンの授業だけでなく普段から入力練習をしておくことが望ましい。

トラベルコース

専門科目

シラバス（授業計画）

科目名	旅行業法			科目区分	専門科目
対象	観光科ﾄﾗﾍﾞﾙｺｰｽ、鉄道科鉄道・交通ｻｰﾋﾞｽｺｰｽ			授業形式	講義
実施期	1 年　前期	単位数	前期 ： 3 単位	時間数	前期 ： 45 時間
担当	立石　智之				
	実務経験 ： 有 ・ 無	旅行業界にて実務経験あり。セールスや内勤、コールセンター等で9年経験。			
授業概要	「旅行業法」は国家試験である国内旅行業務取扱管理者試験（9月実施）、そして総合旅行業務取扱管理者試験（10月実施）における重要科目として位置づけられています。従って、この授業は国家試験対策として前期に学習します。 「旅行業法」は旅行会社とお客様との間にトラブルがないよう国と旅行会社の間に定められた『法律』です。具体例をあげながら“旅行業界のルール”を楽しく学習し、過去問を解いて国家試験対策を行います。				
到達目標	9月実施の国内、10月実施の総合旅行業務取扱管理者試験の合格、もしくはそれに準ずるレベルの理解				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称:国内旅行業務取扱管理者				
教科書 教材	「旅行業法及びこれに基づく命令」（ JTB総研 ） 「国内管理者　科目別速習問題集」（ JTB総研 ）				
授業計画	【旅行業の目的・定義・種別、登録の申請・拒否】 法令とは？旅行業法の目的 旅行業の定義、旅行業の除外規定 旅行の種類、旅行業法の種別と業務の範囲 申請書の登録事項 登録の拒否事由 【旅行業の有効期限・営業保証金、料金掲示や約款、取引条件等】 旅行業の有効期限 旅行業の事業の開始時期、営業保証金額、追加供託 旅行業務取扱管理者の選任、職務、外務員証 旅行取扱料金の掲示、旅行業約款の認可 契約条件説明、契約書面について 【広告、旅程管理、禁止事項、業務改善命令、受託契約と旅行代理店経、旅行業協会等】 広告の表示方法と記載事項、誇大広告の禁止、標識の掲示 企画旅行の円滑な実施のための措置、旅程管理 禁止行為、名義利用の禁止、業務改善命令、事業の廃止 受託契約、代理業者の登録の執行、禁止事項等 旅行業協会の業務、社員の資格、弁済業務				
成績評価 方法	下記評価基準に準ずる。				
成績評価 基準	A：授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B：授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C：授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点可 D：授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス（授業計画）

科目名	旅行業約款			科目区分	専門科目
対象	観光科ﾄﾗﾍﾞﾙｺｰｽ、鉄道科鉄道・交通ｻｰﾋﾞｽｺｰｽ			授業形式	講義
実施期	1 年　前期	単位数	前期 ： 3 単位	時間数	前期 ： 45 時間
担当	立石　智之				
	実務経験 ： 有 ・ 無	旅行業界にて実務経験あり。セールスや内勤、コールセンター等で9年経験。			
授業概要	「旅行業約款」は国家試験である国内旅行業務取扱管理者試験（9月実施）、そして総合旅行業務取扱管理者試験（10月実施）における重要科目として位置づけられています。従って、この授業は国家試験対策として前期に学習します。 「旅行業約款」は旅行会社とお客様と旅行を契約する上での『約束事』です。具体例をあげながら“旅行業界のルール”を楽しく学習し、過去問を解いて国家試験対策を行います。9月の国家試験に皆さんで合格を勝ち取りましょう。				
到達目標	9月実施の国内、10月実施の総合旅行業務取扱管理者試験の合格、もしくはそれに準ずるレベルの理解				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称:国内旅行業務取扱管理者、総合旅行業務取扱管理者				
教科書 教材	「旅行業約款　運送・宿泊約款」（ JTB総研　） 「国内管理者　科目別速習問題集」（ JTB総研 ） 旅行業法で購入済				
授業計画	【旅行業約款の定義】【募集型企画旅行の定義・契約の締結・書面・契約内容の変更】 標準旅行業約款、標準旅行業約款の構成 適用範囲、特約、用語の定義、手配代行者、通信契約 契約の申込み、拒否事項 契約書面と確定書面の流れ、確定書面の交付期限 契約内容の変更、旅行代金の変更、旅行者の交替 【募集型企画旅行の契約の解除・団体、グループ・旅程管理・損害賠償・旅程保証】 旅行者の解除権、旅行業者の解除権、払い戻し 団体・グループ契約、契約責任者 旅程管理、旅行業者の指示、添乗員等の業務 旅行業者の責任、旅行者の責任 旅程保証、保証対象外の事由、変更補償金の支払い 【募集型企画旅行の特別保証規定、受注型企画旅行契約の部、手配旅行契約の部、通信契約関連各種約款】 参加中の定義、種類と補償額、特別補償の対象外 定義、流れ、契約締結の拒否、解除、変更 契約の主体、定義、手配債務の終了、拒否、解除、変更 通信契約、契約の成立、支払い、契約書面等 国内航空約款、宿泊約款、バス約款、フェリー約款				
成績評価方法	小テスト、期末テストの点数と出席率、平常点の総合点数にて評価する。				
成績評価基準	A：評価試験 80 点以上、出席率 95%以上、平常点 15 点以上優 B：評価試験 70 点以上、出席率 80%以上、平常点 10 点以上良 C：評価試験 40 点以上、出席率 60%以上、平常点 5 点以上可 D：評価試験 40 点未満、出席率 60%未満、平常点 5 点未満不可 ※平常点は、授業への参加度や授業態度などを加味して 20 点満点とし、上記評価点数に組み込まれる。				

学生へのメッセージ

シラバス（授業計画）

科目名	国内旅行地理Ⅰ			科目区分	専門科目
対象	観光科ﾄﾗﾍﾞﾙｺｰｽ、鉄道科鉄道・交通ｻｰﾋﾞｽｺｰｽ			授業形式	講義
実施期	1年 前期	単位数	前期 ： 1単位	時間数	前期 ： 30時間
担当	担当講師				
	実務経験 ： 有 ・ 無				
授業概要	「国内観光資源」は国家試験である国内旅行業務取扱管理者試験（9月実施）における重要科目として位置づけられています。従って、この授業は国家試験対策として前期に学習します。 地理検定・国内管理者試験などの地理の基礎部分として重要な科目になるこの教科は、プリント記入を中心にパワーポイントを利用して映像を見ていただきながら授業を進めます。				
到達目標	国内旅行業務取扱管理者試験合格				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称：国内旅行業務取扱管理者				
教科書 教材	「国内観光資源」（ JTB総研 ） 「旅に出たくなる地図 日本」（ 帝国書院 ） 「国内観光地理サブノート」（ JTB総研 ）				
授業計画	北海道～関東までの範囲で、 自然景観・温泉・祭・歴史的建造物・伝統工芸等、国内管理者合格の為に様々な範囲の勉強をしていきます。 【基礎知識の確認】 教科書等を利用し、都道府県・県庁所在地等を覚える。 （場所の確認、白地図への記入） （場所、立地、観光視点等） 【各単元の地理知識習得】 教科書等を利用し、所在地、名称を覚える。 （場所、立地、観光視点）等 【知識の確認】 地理検定・国内管理者の過去問題を使用しながら総合的な地理問題を解き 覚えた知識を確認する。（小テストの実施も含める）				
成績評価 方法	下記成績評価基準に基づく。				
成績評価 基準	A：授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B：授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C：授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点可 D：授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス（授業計画）

科目名	国内旅行地理Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	観光科ﾄﾗﾍﾞﾙｺｰｽ、鉄道科鉄道・交通ｻｰﾋﾞｽｺｰｽ			授業形式	講義
実施期	1 年 前期	単位数	前期 ： 1 単位	時間数	前期 ： 30 時間
担当	澤内 隆				
	実務経験 ： 有 ・ 無	旅行業界にて実務経験あり。			
授業概要	「国内観光資源」は国家試験である国内旅行業務取扱管理者試験（9月実施）における重要科目として位置づけられています。従って、この授業は国家試験対策として前期に学習します。 観光業では必須知識である地理のうち、地勢（自然景観）を集中して学びます。地理検定・国内管理者試験などの地理の基礎部分として重要な科目になるこの教科は、プリント記入を中心にパワーポイントを利用して映像を見ていただきながら授業を進めます。				
到達目標	国内旅行業務取扱管理者試験合格				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称:国内旅行業務取扱管理者				
教科書 教材	「国内観光資源」（ JTB総研 ） 「旅に出たくなる地図 日本」（ 帝国書院 ） 「国内観光地理サブノート」（ JTB総研 ）				
授業計画	中部～四国地方までの範囲における 自然景観・温泉・祭・歴史的建造物・伝統工芸・その他試験対策等を学習していきます。 【基礎知識の確認】 教科書等を利用し、都道府県・県庁所在地・国立公園を覚える。 （場所の確認、白地図への記入、国立公園の詳細確認） （場所、立地、観光視点等） 【地理知識習得】 教科書等を利用し、所在地、名称を覚える。 【知識の確認】 地理検定の過去問題を使用しながら総合的な地理問題を解き 覚えた知識を確認する。（小テストの実施も含める）				
成績評価 方法	小テスト、期末テストの点数（授業理解度）と出席率、平常点のすべてにおいて基準を満たすものを評価とする。				
成績評価 基準	A：評価試験 80 点以上、出席率 90%以上、平常点優 B：評価試験 70 点以上、出席率 80%以上、平常点良 C：評価試験 40 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D：評価試験 40 点未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス（授業計画）

科目名	国内旅行地理Ⅲ			科目区分	専門科目
対象	観光科ﾄﾗﾍﾞﾙｺｰｽ、鉄道科鉄道・交通ｻｰﾋﾞｽｺｰｽ			授業形式	講義
実施期	1 年　前期	単位数	前期 ： 1 単位	時間数	前期 ： 30 時間
担当	松川　信也				
	実務経験 ： 有 ・ 無	元添乗員。観光系の専門学校において旅行や国家試験対策の教鞭実務経験あり。			
授業概要	国内の観光資源のうち、「九州」「沖縄」「中国」「四国」の各地方について、当授業で集中的に学習する。				
到達目標	「九州」「沖縄」「中国」「四国」の各地方について、自然景観、文化要素の名称と特徴を説明できる。 ・国内旅行業務取扱管理者試験合格				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称:国内旅行業務取扱管理者				
教科書 教材	「国内観光資源」（JTB総研） 「旅に出たくなる地図・日本」（帝国書院） 「国内観光地理サブノート」（JTB総研）				
授業計画	全体として3部構成となる。 【2022 国内旅行の動向】 コロナ騒動の終結を視野に、講師が独自の観点で分析した 2022 年の国内旅行全体の動向を 3 点程度プレゼンテーションする。 観光列車・LCCなどトレンドに影響する運送手段を学習しつつ、関連観光地を学習する。 【「九州」「沖縄」「中国」「四国」の観光資源】 沖縄、鹿児島、宮崎、熊本、大分、佐賀、長崎、福岡、山口、広島、岡山、島根、鳥取、愛媛、香川、徳島、高知の 17 県が存在する。それら各県の観光資源を順次学習する。動画（DVD）も利用して学習内容をしっかり把握する。 授業内小テストを随時（4～6回程度）行う。 【サブノートの記入】 副教材「国内観光地理サブノート」を記入して知識の定着を図る。こちらは主として自宅学習となる。				
成績評価 方法	小テストは全 6～8回実施し、平常点としてカウントする。欠席の場合は0点扱いなので注意。期末評価試験も実施する。期末試験は、1問1点の100問の100点満点。平常点、出席率、期末試験の総合評価。				
成績評価 基準	A：評価試験 80 点以上、かつ　出席率 80%以上、かつ　平常点優 B：評価試験 60 点以上、かつ　出席率 60%以上、かつ　平常点良以上 C：評価試験 40 点以上、かつ　出席率 60%以上、かつ　平常点可以上 D：評価試験 40 点未満、または　出席率 60%未満、または　平常点不可				

学生へのメッセージ

国内旅行の中核をなす授業と認識してください。覚えることは沢山ありますが、できるだけ視覚に訴える授業運営に努めますので、楽しみながら知識を蓄えてください。ご自分が旅行に行く際も大いに役立つ授業となります。

シラバス（授業計画）

科目名	各種運送約款・料金			科目区分	専門科目
対象	観光科ﾄﾗﾍﾞﾙｺｰｽ、鉄道科鉄道・交通ｻｰﾋﾞｽｺｰｽ			授業形式	講義
実施期	1 年　前期	単位数	前期 ： 1単位	時間数	前期 ： 15 時間
担当	松川　信也				
	実務経験 ： 有 ・ 無	元添乗員。観光系の専門学校において旅行や国家試験対策の教鞭実務経験あり。			
授業概要	国内旅行業務取扱管理者試験の試験範囲となっている、JR 運賃料金以外の、国内航空、フェリー、貸切バス、宿泊の各システムについて、実務者として必要な知識・技術を身につけるとともに、国内旅行業務取扱管理者試験で必要とされる能力を培い試験対策としていきます。国家試験の合格はもとより、業界で必要とされる知識の習得を目指して学習していきます。				
到達目標	国内旅行業務取扱管理者試験の合格 業界で必要とされる実務能力の習得				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称:国内旅行業務取扱管理者試験の合格				
教科書 教材	「JR時刻表」（交通新聞社） 「国内運賃・料金」（JTB総研） 「旅行業約款　運送・宿泊約款」（JTB総研）				
授業計画	全体で4部構成となる Ⅰ. 国内航空（ANA/JAL/LCC） ・運賃料金体系 ・国内航空約款（JAL） Ⅱ. 貸切バス ・運賃料金体系 ・貸切バス約款 Ⅲ. フェリー ・運賃料金体系 ・フェリー約款 ⅳ. 宿泊 ・一般的な宿泊料金体系 ・モデル宿泊約款				
成績評価 方法	小テストは各パート終了ごとに計4回実施し、平常点としてカウントする。欠席の場合は0点扱いとなるので注意。 期末評価試験も実施（電卓持込可）し、平常点、出席率、期末試験の総合評価。				
成績評価 基準	A：評価試験 80 点以上、かつ　出席率 80%以上、かつ　平常点優 B：評価試験 60 点以上、かつ　出席率 60%以上、かつ　平常点良以上 C：評価試験 40 点以上、かつ　出席率 60%以上、かつ　平常点可以上 D：評価試験 40 点未満、または　出席率 60%未満、または　平常点不可				

学生へのメッセージ

国内を旅行する際の交通手段はJRだけでなく、航空機、バス、フェリーなども存在し、その運賃料金体系および約款が、国家試験において毎年出題されている。また、旅先で宿泊する旅館・ホテルの料金体系および約款についても同様である。当授業においてそれらをしっかり習得して国家試験において万全を期すとともに、実務知識をしっかり身につけてほしい。

シラバス（授業計画）

科目名	時刻表実務Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	観光科ﾄﾗﾍﾞﾙｺｰｽ、鉄道科鉄道・交通ｻｰﾋﾞｽｺｰｽ			授業形式	講義
実施期	1 年　前期・後期	単位数	前期 ： 1 単位 後期 ： 1 単位	時間数	前期 ： 30 時間 後期 ： 30 時間
担当	響　丈				
	実務経験 ： [有] ・ 無	鉄道業界にて駅務、車掌、運転士として実務経験あり。			
授業概要	旅行・鉄道に関連する業務に従事するものにとって必要不可欠な時刻表の基本的な使用方法を習得していきます。初めて時刻表に触れる学生が多いと思いますが、心配することはありません。初めて学習する学生が理解できるように、基礎的な問題から順序立てて、進めていきます。ただ、ここで学んだことを後期、2 年次前期と引き継いで、最終的には業務従事者のレベルまで引き上げていきますので、油断することなく、身につけていってください。				
到達目標	業界で必要とされる時刻表実務能力の習得を最終目標とする。				
検定資格	なし ・ [必修] ・ 任意　　名称:国内旅行業務取扱管理者				
教科書 教材	「JR時刻表」（交通新聞社）				
授業計画	【時刻表の構成】 INDEX 索引地図の見方・使用法について 【時刻表の基本的使用方法】 JR列車時刻の調べ方 列車の乗り継ぎ 車両編成・席番配置図 運賃料金の算出（基本・早見表） 会社線・国内・国際航空・高速バス・フェリーの引き方 【時刻表の実践的な技術習得】 総合演習問題による実践的な学習 ・索引地図、列車時刻、会社線 ・特急列車、乗継割引、その他サービス 【時刻表のより実践的な技術習得】 乗継早見表と運賃料金早見表の実務的技術習得 ・新幹線と在来線 ・通常期・繁忙期・閑散期 ・普通車指定席・自由席・グリーン車				
成績評価 方法	下記成績評価基準に基づく。				
成績評価 基準	A：授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B：授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C：授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点可 D：授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス（授業計画）

科目名	鉄道運賃・料金			科目区分	専門科目
対象	観光科ﾄﾗﾍﾞﾙｺｰｽ、鉄道科鉄道・交通ｻｰﾋﾞｽｺｰｽ			授業形式	講義
実施期	1 年　前期	単位数	前期 ： 3 単位	時間数	前期 ： 45 時間
担当	担当講師				
	実務経験 ： 有 ・ [無]				
授業概要	JRの運賃料金のシステムについて、実務者として必要な知識・技術を身につけるとともに、国内旅行業務取扱管理者試験で必要とされる能力を培い試験対策としていきます。国家試験の合格はもとより、業界で必要とされる知識の習得を目指して学習していきます。				
到達目標	国内旅行業務取扱管理者試験の合格 業界で必要とされる実務能力の習得				
検定資格	なし ・ [必修] ・ 任意　　名称:国内旅行業務取扱管理者				
教科書 教材	「JR時刻表」（交通新聞社） 「国内運賃・料金」（JTB総研）				
授業計画	【JR運賃の基本原則】 JR各社について 幹線と地方交通線について 運賃の異なる会社間について 通過連絡運輸、連続運賃について 【JR運賃計算の特例】【各種割引運賃】 特定区間、特定都市発着の運賃について 往復割引、学生割引について 団体割引運賃について 【JR料金システム】 JR料金の基本的な考え方について 新幹線の特急料金について・在来線の特急料金について 特急料金の変動について・乗継割引について 山形・秋田新幹線の料金について 【その他のJR営業規則】 有効期間、払い戻し手数料について				
成績評価 方法	授業内で小テスト実施、授業理解度は全ての小テストと評価試験を総合評価で判断 出席率、授業参加意欲も評価する				
成績評価 基準	A:授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B:授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C:授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点可 D:授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス（授業計画）

科目名	国内管理者対策Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	観光科ﾄﾗﾍﾞﾙｺｰｽ、鉄道科鉄道・交通ｻｰﾋﾞｽｺｰｽ			授業形式	講義
実施期	1年 前期 後期	単位数	前期 ： 2単位 後期 ： 4単位	時間数	前期 ： 30時間 後期 ： 60時間
担当	松川 信也/立石 智之				
	実務経験 ： 有 ・ 無	松川:元添乗員。観光系の専門学校において旅行や国家試験対策の教鞭実務経験あり。 立石:旅行業界にて実務経験あり。セールスや内勤、コールセンター等で9年経験。			
授業概要	「国内旅行業務取扱管理者」試験（9月実施）に向けて、夏季休暇中に特別プログラムを組み各科目別に授業を行います。前期の授業内で学習した基礎内容を復習しつつ、過去の問題やプリントで細かく確認していきます。また、毎年間違えやすい問題や勘違いしやすい内容を繰り返し学習し本番までに問題に慣れることで試験当日に備えます。 学習項目としては「旅行業法」「旅行業約款」「国内旅行実務」に基づき、法律や地理、JR運賃料金などを時間割ごとに学習していきます。1年に一度しか受験できない国家資格合格に向けて万全の態勢で臨みましょう！				
到達目標	国内旅行業務取扱管理者試験の合格				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称:国内旅行業務取扱管理者試験				
教科書 教材	国家試験対策　模擬試2種類 国内模試（JTB総研） 国内管理者 理解度チェックアプリ使用料 （JTB総研） 国内管理者 科目別速習問題（JTB総研） ※その他・前期授業で使用した教科書を使用します。				
授業計画	【旅行業法】 前期に行った授業内容を基に知識の確認を行います。 内容:申請書の登録事項、各種書面の交付、広告の表示方法 標識について（過去問を使用します） 各回に行った模試の解答及び解説 【旅行業約款】 前期に行った授業内容を基に知識の確認を行います。 内容:契約書面、確定書面、旅行者・旅行業者の解除権 旅程保証、特別保証規定（過去問を使用します） 各回に行った模試の解答及び解説 【国内旅行実務】 前期に行った授業内容を基に知識の確認を行います。 地理:自然景観、温泉・祭り、日本文化 実務:運賃料金の算出（基本・早見表）、グリーン料金・寝台料金 在来線・新幹線の運賃料金、乗継割引、払い戻し 有効期間、割引運賃、特定区間、連続運賃 各回に行った模試の解答及び解説 【模擬試験】 3回に分けて模試を行います。2021年度版　模試A、B、C　3種類				
成績評価 方法	小テストの点数（授業理解度）と出席率、平常点のすべてにおいて基準を満たすものを評価とする。				
成績評価 基準	A:授業理解度80%以上、出席率90%以上、平常点優 B:授業理解度60%以上、出席率80%以上、平常点良 C:授業理解度40%以上、出席率60%以上、平常点可 D:授業理解度40%未満、出席率60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス（授業計画）

科目名	観光業界ガイド			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルコース			授業形式	講義
実施期	1 年　前期	単位数	前期 ： 1 単位	時間数	前期 ： 20 時間
担当	立石　智之				
	実務経験 ： 有 ・ 無	旅行業界にて実務経験あり。セールスや内勤、コールセンター等で9年経験。			
授業概要	将来、観光業界で働きたいと希望している学生に対し、観光業界ってどのような仕事があるのか？どのような会社があるのか？を学んでいただきます。特に1年生後期から就職活動がスタートしますので実際の就職活動を見据え、“幅広い業界知識”を身に付けます。 お客様に一生に一度の「感動」を約束する仕事、それが観光業です。 夢に向かって業界について学んでいきましょう。				
到達目標	後期の授業：観光実務や就職活動に向けて、実際の企業や求人を確認しながら将来を決めていく準備を行い、より自分に合った就職先・業界を見つけてもらう手助けをします。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	なし（別途プリント等を用意）				
授業計画	【観光業界を知る！】 授業の目的を確認した上で、観光業界全体像を把握し各業界との結びつきや関係性を理解してもらう。 【仕事・会社の種類を知る！】 各業界の職種、主な業務内容を把握し会社名や各会社の特徴を 捉えて目指す会社を決めるための知識を得てもらいます。 また各業界の卒業生を呼んで、現在行っている職種や会社の事を 聴く機会を設けます。 【業界を学ぶ！】 各業界の視察等を入れ、実際の職場に触れ合い業務を学ぶ。 【業界調査を行う！】 各分野に分かれてHPや店舗・施設を見学し、お客様としての 視点や業界を目指す学生としての視点を交えながらグループで 分かれて調査内容を報告してもらいます。他のグループでも気になった箇所があれば、後々自分自身で調べる事も出来ます。				
成績評価 方法	期末テストの点数（授業理解度）と出席率、平常点のすべてにおいて基準を満たすものを評価とする。				
成績評価 基準	A：授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B：授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C：授業理解度 50%以上、出席率 60%以上、平常点可 D：授業理解度 50%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス（授業計画）

科目名	アマデウス			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルコース			授業形式	実技
実施期	1 年　後期	単位数	後期 ： 1 単位	時間数	後期 ： 30 時間
担当	立石　智之				
	実務経験 ： 有 ・ 無	旅行業界にて実務経験あり。セールスや内勤、コールセンター等で9年経験。			
授業概要	航空・旅行業界の予約手配において、先進の IT 技術は欠かせません。とりわけアマデウスは GDS（Global Distribution System）として、全世界の航空会社や旅行会社にとって航空券やホテルなどの旅行素材を手配するための必要不可欠なシステムとなっています。アマデウスの国際線予約システム基本操作を習得し、アマデウスシステム検定試験 Specialist 資格取得を目標とします。				
到達目標	アマデウスシステムでの予約記録が作成できること。 アマデウスシステム検定試験 Specialist 資格の取得。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称: アマデウスシステム検定 Specialist				
教科書 教材	Amadeus 予約ユーザーガイド アマデウス予約クイックガイド				
授業計画	【情報検索】 ・GDS、アマデウスシステムの基礎知識を習得する ・都市･空港･国･通貨･航空会社コードの検索方法を理解・習得する 【空席照会】 ・空席照会とそのオプションを理解・習得する ・ダイレクトアクセスの入力方法及び表示内容を理解する ・フライトスケジュール・タイムテーブル照会の入力方法及び表示内容を理解・習得する 【フライト予約】 ・空席照会画面からのフライト予約方法及びステータスコードを理解・習得する ・乗継ぎ便・2 区間の予約方法を理解・習得する ・オープンセグメント・情報セグメント(ARNK)等を理解・習得する 【予約記録作成】 ・PNR作成の流れを理解・習得する ・名前の入力(単数・複数等)方法の理解・習得 ・SSRなどの入力を理解・習得する ・旅程の取り消し、修正・変更・削除ができるようにする 【検定対策】 ・過去問を使用した総合練習問題への取り組み				
成績評価方法	小テスト、期末テストの点数（授業理解度）と出席率、平常点のすべてにおいて基準を満たすものを評価とする。				
成績評価基準	A：評価試験 80 点以上、出席率 90%以上、平常点優 B：評価試験 60 点以上、出席率 80%以上、平常点良 C：評価試験 40 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D：評価試験 40 点未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

「アマデウス」授業では、Web システムを使用して授業を行うので、キーボード入力速度の速さも必要です。
日頃から入力練習をしっかりしておいてください。

シラバス（授業計画）

科目名	就職対策Ⅰ			科目区分	専門科目
対象	観光科ﾄﾗﾍﾞﾙｺｰｽ、鉄道科鉄道・交通ｻｰﾋﾞｽｺｰｽ			授業形式	講義
実施期	1年 後期	単位数	後期 ： 3単位	時間数	後期 ： 45時間
担当	冨澤 邦明				
	実務経験 ： 有 ・ 無				
授業概要	業界を目指す皆さんにとって、就職試験は大きな挑戦になります。 業界を受験する際に実際に行われている試験を行うことにより受験の準備をし、受験の流れや実際に行われている試験を体験することでより就職活動への意欲を高め、試験への準備を整えましょう。				
到達目標	会社の採用試験がどのようなものか理解をし、自身の就職活動に生かす。 各会社からの求人が来た時に、すぐに活動を始めることが出来るようにする。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	なし				
授業計画	【業界の入社試験について】 会社の試験がどのようなものか理解をする 筆記試験・解説 【面接練習】 グループ、個人問わず採用試験で避けて通れない面接を、何度も練習することで、自分が伝えたい本心を100%伝えられるよう取り組む。 【Web 筆記】 PC を利用して、本番に近い問題がどのように行われるのかを理解する 義務教育までの基礎学習を見直し、苦手な分野や不得意な科目について 就職筆記に携わる部分を克服する 【校内企業説明会】 企業の方から直接現場での業務内容や、一日の流れを聞き、理解度を高める。 また WEB や資料だけでは判断しきれない細かい部分も質疑応答にて解決する術を身につける。				
成績評価 方法	小テストの点数（授業理解度）と出席率、平常点のすべてにおいて基準を満たすものを評価とする。				
成績評価 基準	A：授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B：授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C：授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点可 D：授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

希望業界での内定することで、自分の将来の生活ビジョンをより明確に描けるよう取り組んでいきますので、 他人事ではなく、自分事で一緒に授業をすすめていきましょう！

シラバス（授業計画）

科目名	Web 入門Ⅰ			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルコース			授業形式	演習
実施期	1年 後期	単位数	後期 ： 1 単位	時間数	後期 ： 30時間
担当	眞舘 尚子				
	実務経験 ： 有 ・ 無				
授業概要	昨今ビジネスでは、ホームページが大きな役割を担っています。WordPress を使ってホームページを実際に作成してみることで、基本的な操作方法などを学び、将来の仕事の幅を広げましょう。				
到達目標	実際に多くのお客様に訪問してもらえるホームページを作成し、完成させる。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	なし				
授業計画	【ホームページの枠組み】 ・ホームページの枠組みをグループで決め、おおまかな内容を考える。 自身が旅行会社のホームページ作成担当になったと仮定して、実際にどのようなページは効果的か大まかに考えていきます。 【動画作成】 ・ホームページに埋め込む動画の作成をします。 興味を持ってもらうための動画を作成します。 作るホームページのテーマに合わせた動画を作成するべく、動画作成の方法を学び。選び、実際に作成します 【文書と表の作成】 ・ホームページに埋め込む文書の作成をします。 旅行会社のホームページには欠かせない、旅行プランを Excel や Word を使って作っていきます。 色やフォントも見る人に興味を持ってもらえる工夫をしていきます。				
成績評価 方法	出席率、受講姿勢、評価試験から総合的に評価します。				
成績評価 基準	A：評価試験 80 点以上、出席率 80%以上、平常点優、 B：評価試験 60 点以上、出席率 70%以上、平常点良、 C：評価試験 40 点以上、出席率 60%以上、平常点可、 D：評価試験 40 点未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

ホームページを作成するうえでは、言葉・写真・色などを選び、効果的に配置・使用することが必要です。 楽しみながら、訪問してもらえるホームページ作りをしていきましょう。

シラバス（授業計画）

科目名	国内観光資源Ⅰ			科目区分	専門科目
対象	観光科ﾄﾗﾍﾞﾙｺｰｽ、鉄道科鉄道・交通ｻｰﾋﾞｽｺｰｽ			授業形式	講義
実施期	1年 後期	単位数	後期 ： 2単位	時間数	後期 ： 30時間
担当	松川 信也				
	実務経験 ： 有 ・ 無	元添乗員。観光系の専門学校において旅行や国家試験対策の教鞭実務経験あり。			
授業概要	地域割りですすめた前期の「国内旅行地理Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の講座とは別の観点で、で日本全国の観光資源、郷土文化をテーマ別、季節別に学び、国内旅行の実務を行う上で必要となる知識を幅広く学ぶ。 並行して12月に全員受験の「日本・旅行地理検定」（中級）の受験対策授業を行う。				
到達目標	国内観光地理の全国的・横断的な観点での学習を行い、将来仕事の上で役立つ知識を身につけ役立てる。 併せて、12月実施の「日本・旅行地理検定（中級）」に合格できる知識を身につける。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称: 日本・旅行地理検定（中級）				
教科書 教材	「国内観光資源」（JTB研究所） 「旅に出たくなる地図　日本」（帝国書院）				
授業計画	1.「春夏秋冬を愛でる旅」 季節ごとの日本の観光の見どころを把握。 2. 日本の世界遺産 25か所ある日本の世界遺産の概要、意義、位置を把握する。 3. 日本三大観光資源シリーズ 国内のさまざまな観光資源を、日本人が好きな「三大〇〇」という観点で整理して知識を強固なものとする。 4.（並行学習） 12月実施の「日本・旅行地理検定（中級）」受験対策として、過去問題を練習問題として解き、併せて関連観光資源を学習する。				
成績評価方法	各パート終了ごとに小テスト実施し、平常点としてカウントする。欠席の場合は0点扱いとなるので注意。期末評価試験も実施し、期末試験、出席率、平常点の総合評価とする。				
成績評価基準	A：評価試験80点以上、かつ　出席率80%以上、かつ　平常点優 B：評価試験60点以上、かつ　出席率60%以上、かつ　平常点良以上 C：評価試験40点以上、かつ　出席率60%以上、かつ　平常点可以上 D：評価試験40点未満、または　出席率60%未満、または　平常点不可				

学生へのメッセージ

9月の国家試験対策中心となる前期の「国内旅行地理Ⅰ～Ⅲ」とはやや観点を変え、実務上役に立つさまざまな国内観光トピックスを取り上げます。楽しく学習しながら知識を深めましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	海外観光資源Ⅰ			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルコース			授業形式	講義
実施期	1年 後期	単位数	後期 : 2 単位	時間数	後期 : 30 時間
担当	担当講師				
	実務経験 : 有 ・ 無	旅行業界にて旅程管理実務経験あり			
授業概要	この科目では、日本人が多く訪れる世界の国と地域、観光資源について、広く浅く学ぶ。 1 年次では概論を、2 年次では各論を、授業の柱とする。 小テストを実施する。 購入教材のほか、適宜プリントや旅行会社のパンフレットを使用する。 ※なお、海外観光地理検定および総合旅行業務取扱管理者の合格をターゲットにした授業ではありません。 合格には別途学習が必要です。				
到達目標	・日本人が多く訪れる世界の主要国の概要（位置、国名、首都など）が把握できる。 ・2 年次の総合旅行業務取扱管理者試験受験の下敷きとなる基礎知識の習得。 ・世界の地理に興味が持てる。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	海外観光資源（ＪＴＢ総研） 旅に出たくなる地図　世界（帝国書院）				
授業計画	【地図を把握する】 緯度(季節、回帰線、極圏)／経度(時差、日付変更線)を学び、気候や時差について理解する。 白地図を使用する。 【地勢を把握する】 各大陸、海洋、主な河川や山脈など。配布物、白地図を使用する。 【エリアを把握する】 アジア／ヨーロッパ／中東アフリカ／オセアニア／北中南米 各エリアの範囲と、代表的な国、首都、主要空港がある都市を把握する。白地図と配布物を使用する。小テストを実施する。 【期末試験と解説】 期末試験／解説				
成績評価 方法	理解度、出席率、平常点。 授業態度、意欲に関しては、平常点に含みます。				
成績評価 基準	A:評価試験(理解度)80%以上、かつ出席率 80%以上、かつ平常点　優 B:評価試験(理解度)60%以上、または出席率 70%以上、または平常点　良 C:評価試験(理解度)40%以上、または出席率 60%以上、または平常点　可 D:評価試験(理解度)40%未満、または出席率 60%未満、または平常点　不可				

学生へのメッセージ

今年度は、まずはざっくり海外の渡航先を把握しましょう。世界は広い！そして面白い！

シラバス（授業計画）

科目名	硬筆・書写検定対策			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルコース、鉄道科鉄道・交通サービスコース			授業形式	講義
実施期	1 年　後期	単位数	後期 ： 1 単位	時間数	後期 ： 15 時間
担当	担当講師				
	実務経験 ： 有 ・ 無	英国王立美術家協会名誉会員でもあり書道サロン主宰。			
授業概要	「文字を書く」事は今後の生活において、なくてはならない必須事項となります。履歴書に書くことや、今後働いていく上でも、あなたの書く字の美しさにまわりからの印象が良くなるでしょう。是非、将来のために自己の書写能力を高めていきましょう。				
到達目標	硬筆・書写技能検定　4 級の合格および相当レベル				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称: 硬筆・書写技能検定				
教科書 教材	硬筆・書写技能検定　4級公式過去問題集（日本能率協会マネジメントセンター）				
授業計画	硬筆書写の基礎的技術及び知識をもって書く。 【実技】 ・速書き ・漢字仮名交じりの言葉 5～6 字を書く ・縦書き、横書き ・掲示文（縦書き 10 字前後を 2 行で書く） 【理論】 ・教育漢字（学習漢字）の楷書・ひらがな・かたかなの筆順 ・教育漢字の書き取り				
成績評価 方法	下記成績評価基準に基づく。				
成績評価 基準	A：授業内期末試験　80%以上、出席率 80%以上、平常点良好 B：授業内期末試験　60%以上、出席率 80%以上、平常点良好 C：授業内期末試験　40%以上、出席率 60%以上、平常点普通 D：授業内期末試験　40%未満、出席率 60%未満、平常点不良				

学生へのメッセージ

シラバス（授業計画）

科目名	Travel English Ⅰ			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルコース			授業形式	演習
実施期	1 年 後期	単位数	後期 ： 1 単位	時間数	後期 ： 15 時間
担当	語学担当講師：Robert				
	実務経験 ： 有 ・ 無				
授業概要	前期の Let’s Speak English で習得したコミュニケーションスキルを、「仕事で使える英語」に繋げていきます。旅行業界で添乗員として働く際に遭遇する場面での「使えるフレーズ」を覚えることにで、英語での対応能力を養います。シンプルなキーセンテンスを応用して使えるように、会話、リスニング、アクティビティを通して反復練習をしていきます。				
到達目標	テキスト Travel English Ⅰ の Conversation を暗記し、添乗員のパートをテキストを見ないで会話することが出来る				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称：				
教科書 教材	オリジナルテキスト				
授業計画	【空港で使う英語】 ・チェックインカウンターの確認 ・受託手荷物について ・座席指定 ・フライトの遅延 【機内で使う英語】 ・機内サービス ・機内アメニティ 【入国審査で使う英語】 ・パスポートの提示 ・渡航目的 ・滞在日数 ・税関検査 【復習】【会話テスト】 ・復習 ・1 人ずつ会話テストを実施				
成績評価 方法	評価試験は会話テストを実施し、出席率・授業態度と総合して評価します。				
成績評価 基準	A：評価試験 80 点以上、出席率 90%以上、平常点優 B：評価試験 60 点以上、出席率 80%以上、平常点良 C：評価試験 50 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D：評価試験 50 点未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス（授業計画）

科目名	観光実務Ⅰ			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルコース			授業形式	講義・演習
実施期	1年 後期	単位数	後期 ： 3 単位	時間数	後期 ： 45 時間
担当	立石 智之				
	実務経験 ： 有 ・ 無	旅行業界にて実務経験あり。セールスや内勤、コールセンター等で9年経験。			
授業概要	観光業界において必要な、様々な知識を養う。 レジャーや各地の特産などを勉強したうえで、どのように提供するかを考える				
到達目標	自信をもって人に観光資源（歴史・生活・文化・食事など）を紹介できるようにする				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	適宜プリントを使用する				
授業計画	【知識の習得】 ・クルーズ：国内・海外のさまざまクルーズ船についてどのような違いがあるかを学ぶ ・レンタカー：車の基本的な種類を覚える。また、保険などのカバーされるものなどについて学ぶ ・食事：国内・海外の観光地での名物料理について学ぶ 【旅行会社における業務の習得】 ・パンフレットラックの設置、作成 ・観光素材ボードの作成 ・観光地におけるガイド案内の理解 学んだ上記について旅行パンフレットやインターネットの商品から各素材について、掘り下げて学ぶ 【外部授業】 ・各観光局や旅行会社の方々から、観光業界の現状や仕事の内容、自治体とのつながりを 踏まえながら、町おこしイベントや着地型観光誘致事業を学ぶ。				
成績評価 方法	期末テストの点数（授業理解度）と出席率、平常点のすべてにおいて基準を満たすものを評価とする。				
成績評価 基準	A：授業理解度プレゼン評価　80 点以上、出席率 90%以上、平常点優 B：授業理解度プレゼン評価　60 点以上、出席率 80%以上、平常点良 C：授業理解度プレゼン評価　40 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D：授業理解度プレゼン評価　40 点未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス（授業計画）

科目名	観光プランニング Ⅰ			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルコース			授業形式	演習
実施期	1 年　後期	単位数	後期 ： 2 単位	時間数	後期 ： 30 時間
担当	立石　智之				
	実務経験 ： 有 ・ 無	立石：旅行業界にて実務経験あり。セールスや内勤、コールセンター等で9年経験。			
授業概要	昨今の観光とは、ただ「旅行に行く」だけではなくなっています。 お客様毎に達成したい目的を観光業に携わる観点から考察し「どのようにしたらお客様に喜んでもらえるか」 「どうすればお客様に選ばれるか」を考えながら様々なイベントを企画します。 また各観光地を題材にしたイベント等にも参加し、お客様から見た視点を養い、改善点や問題点を見つけ どのようにすれば改善できるかをグループワークを用いて学習します。				
到達目標	プランニングの基礎を学びます。 実際に各地のイベントに参加することで仕掛け方や集客、客層やターゲット方法などを学び 2 年次に行う観光プランニング Ⅱ／Ⅲへつなげる。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	なし				
授業計画	授業の概要説明と進め方 テーマ作成に当たっての注意 ツアープランニングの補足説明、ツアー作成のポイント説明 グループ分け、ツアーテーマ仮決定、意見交換会議 打合せ内容を基にツアーテーマの最終決定 決定したツアーテーマでの行程表作成 各グループのプレゼン内容の検討、再構成 パワーポイントの作成、企画発表準備 プレゼンシミュレーション、資料作成 各グループに分かれてイベントを体験・作成することにより問題点を意見しあう。 また実際に各地のイベントに参加し、事前の問題点に改善があるのか考察すると共に新しい発見をみつける。 グループ内で、意見を出しあい資料を作成。 発表用パワーポイント作成と、シナリオ作成				
成績評価 方法	プレゼン評価を点数化し、出席率、平常点の総合点数にて評価する				
成績評価 基準	A：授業理解度プレゼン評価　80 点以上、出席率 90%以上、平常点優 B：授業理解度プレゼン評価　60 点以上、出席率 80%以上、平常点良 C：授業理解度プレゼン評価　40 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D：授業理解度プレゼン評価　40 点未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス（授業計画）

科目名	Web 筆記対策			科目区分	専門科目
対象	観光科トラベルコース			授業形式	講義
実施期	1 年 後期	単位数	後期 ： 1 単位	時間数	後期 ： 15 時間
担当	立石 智之				
	実務経験 ： 有 ・ 無				
授業概要	業界を目指す皆さんにとって、就職試験は大きな挑戦になります。 業界を受験する際に実際に行われている試験を行うことにより受験の準備をし、受験の流れや実際に行われている試験を体験することでより就職活動への意欲を高め、試験への準備を整えましょう。				
到達目標	会社の試験がどのようなものか理解をし、自身の就職活動に活かす。 各会社からの求人が来た時に、すぐに活動を始めることが出来るようにする。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意　　名称:				
教科書 教材	すららネット（Web による国語、算数、英語の学習ツール）				
授業計画	【業界の入社試験について】 会社の試験がどのようなものか理解をする 筆記試験・解説 SPI・適性検査 【Web 筆記体験】 PC を利用して、本番に近い問題がどのように行われるのかを理解する 義務教育までの基礎学習を見直し、苦手な分野や不得意な科目について 就職筆記に携わる部分を克服する 【すららネットの利用】 AI を利用した学習ツールを利用し、個人の理解に合わせて 弱点の克服を行う				
成績評価 方法	小テスト、期末テストの点数（授業理解度）と出席率、平常点のすべてにおいて基準を満たすものを評価とする。				
成績評価 基準	A：授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B：授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点良 C：授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点可 D：授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ